

※下の表は黒石市役所での日の出・南中・日の入りの時刻と、午後9時の月齢と形を表したものです。(30秒未満は切り捨て、30秒以上は繰り上げ)

日	日の出	南中	日の入	月齢と形	日	日の出	南中	日の入	月齢と形	日	日の出	南中	日の入	月齢と形
1	5:03	11:38	18:12	2.1 ●	11	5:13	11:35	17:56	12.1 ○	21	5:22	11:31	17:39	22.1 ○
2	5:04	11:38	18:11	3.1 ●	12	5:14	11:34	17:54	13.1 ○	22	5:23	11:31	17:37	23.1 下弦 ●
3	5:05	11:37	18:09	4.1 ●	13	5:14	11:34	17:52	14.1 ○	23	5:24	11:30	17:36	24.1 ○
4	5:06	11:37	18:07	5.1 ●	14	5:15	11:33	17:51	15.1 満月 ○	24	5:25	11:30	17:34	25.1 ○
5	5:07	11:37	18:06	6.1 ●	15	5:16	11:33	17:49	16.1 ○	25	5:26	11:30	17:32	26.1 ○
6	5:08	11:36	18:04	7.1 上弦 ○	16	5:17	11:33	17:47	17.1 ○	26	5:27	11:29	17:31	27.1 ○
7	5:09	11:36	18:02	8.1 ○	17	5:18	11:32	17:46	18.1 ○	27	5:28	11:29	17:29	28.1 ●
8	5:10	11:36	18:01	9.1 ○	18	5:19	11:32	17:44	19.1 ○	28	5:29	11:29	17:27	29.1 ●
9	5:11	11:35	17:59	10.1 ○	19	5:20	11:32	17:42	20.1 ○	29	5:30	11:28	17:26	0.7 新月 ●
10	5:12	11:35	17:58	11.1 ○	20	5:21	11:31	17:41	21.1 ○	30	5:31	11:28	17:24	1.7 ●

月の図は白い部分が光っているところ、黒い部分が欠けているところを表しています

(月が出る時刻は、その日の形によってほぼ決まっています。新月は朝方・上弦は昼ころ・満月は夕方・下弦は深夜、他はその間で1日に平均約51分ずつ遅くなります)

※太陽が赤道の真上を通る「秋分の日」は今年は9月23日ですが、やく4年に1回、9月22日になる年があります。

南の星空

9月になると、夜、いろいろな虫の鳴き声もにぎやかさを増してきますが宵の空では、まだ、たなばたで有名な織り姫星(ベガ)や、彦星(アルタイル)などが頭上でがんばっています。

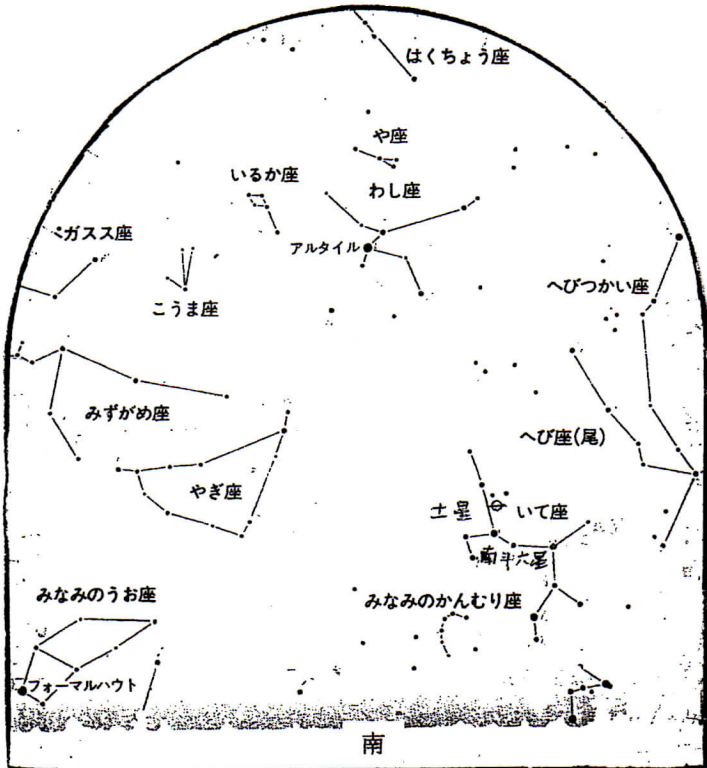
しかし、そこを流れる天の川は西に大きく傾いて、真夏ほどの迫力は感じられなくなりました。

その天の川にどっぷり浸かっていた座にまだ0.4くらいの明るい土星がいて、今月(9月)18日に留(惑星が星座の中を動く方向が逆になる点)を迎えるので、ほとんど動きません。

北の星空

地面の近くが街灯やネオンのあかりなどで、ぼーっとしていますが、約半年かけて北極星の西(左)側を降りてきたおおぐま座が、足を地にしっかりつけた大きな熊の姿を現わすようになりました。

また、全天で一・二をあらそうほどきれいな2つの星団をもち、先月流星群で話題になったペルセウス座が、カシオペア座の下に姿を現わし、来年の春までずっと観察できます。



月はじめは 21時ころ
10日前後は 20時20分ころ
20日前後は 19時40分ころ
月まっは 19時ころ

